



大樹のこころ

環境整備

夏休み、いかがでしたでしょうか。今年は「行動制限なし」の夏休みとなり、たくさん家族の思い出ができたのではないかと思います。本校では、夏休み期間を活用して環境整備を行いました。

環境面で1学期に心配していたのが、排水溝です。運動場の砂が排水溝にたまっており、雨量が多くなると運動場が「水没」することがありました。この改善を市の施設課をお願いしたところ、作業を行っていただきました。大きなトラックが校庭に入り、巨大なホースで排水溝の砂を吸い取ってくれました。台風シーズンを前に、これで一安心といったところです。



5・6年生の教室に「間仕切りカーテン」を設置しました。高学年になると体育の授業や部活動での着替えがナーバスな問題となります。そこで間仕切りカーテンをつけて、同じ室内で着替えができるようにしました。高学年が有効に活用してくれることでしょう。



運動場に新しい登り棒が設置されました。以前あった本校の登り棒はかなり古く、安全性に問題がありました。新しい登り棒を設置する上で考慮したのは、設置場所です。これまではソフトボール部のバックネット近くにありました。これを中校舎と南校舎の間にある「遊具置き場」の近くに移動させることにしました。本校は、来年度から校舎の改築が始まります。工事期間中に運動場の東側が「駐車場」となる計画があり、従来の場所だと登り棒で遊ぶ子供が危険になる可能性があるからです。新しい登り棒で遊ぶ子供たちの姿を早く見たいと思っています。



夏休み中に、思わぬ発見もありました。それは「スズメバチの巣」です。場所は国旗掲揚塔近くの茂みの中です。普通に生活をしていたのでは、とても見つからない場所。本校に作業に来ていた業者の方が偶然見つけてくれました。毎日の国旗掲揚は委員会の仕事で、子供が刺されるという危険性もありました。早速、駆除依頼をして、取り除いてもらいました。本当にホッとしました。



保護者の皆様へ

こうした環境整備を行って迎える2学期。今まで以上に子供たちが健やかに生活してくれることを楽しみにしています。

新型コロナウイルスの感染拡大が心配な状況となっています。お子様や家族の体調管理には十分に気を付けてください。学校としましては、2学期の行事を予定通り行っていきたいと考えています。そのために必要なのは感染拡大防止です。ご協力をお願いします。